

三重県内経済情勢 (平成 21 年 7 月の指標から)

県内経済は、悪化が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる(生産は持ち直しつつある。個人消費は弱まっている。雇用情勢は悪化している)。

1. 概況

(生産)

鉱工業生産指数は2か月連続で上昇し【図1】、鉱工業製品在庫指数は5か月連続で下降した。

(消費)

大型小売店販売額(既存店調整値)は前年同月を12か月連続で下回った。【図2】
 コンビニエンスストア販売額(富山、石川、岐阜、愛知、三重の5県)は2か月連続で前年同月比減となり、家電販売額(中部8県)も2か月連続で前年同月比減となった。

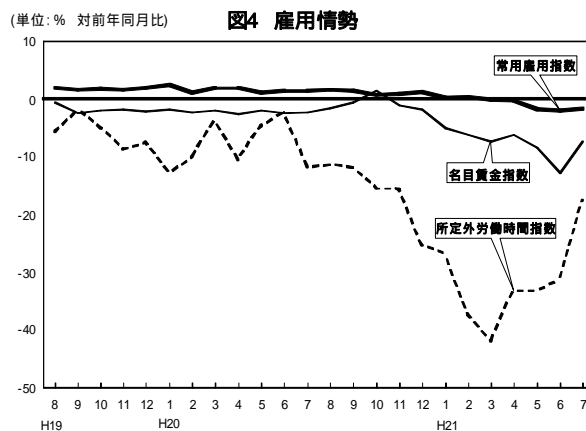
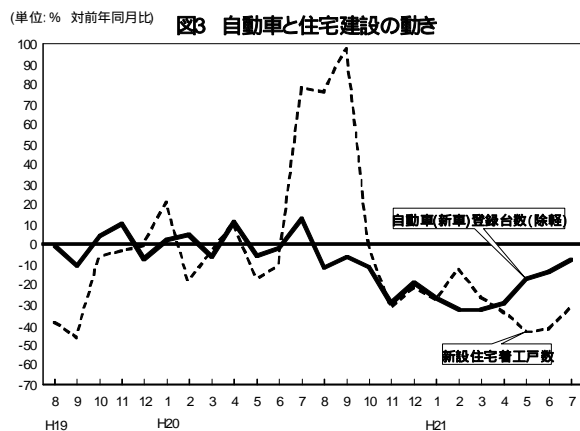
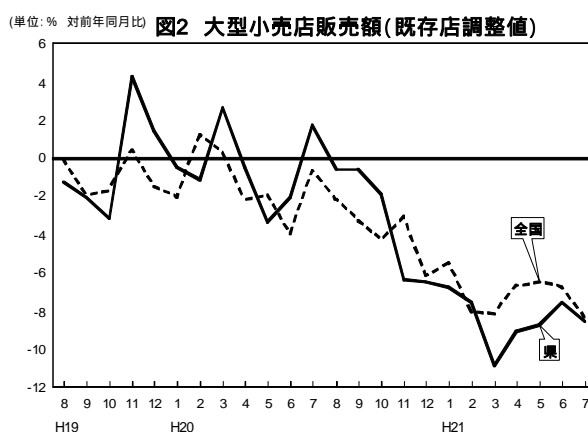
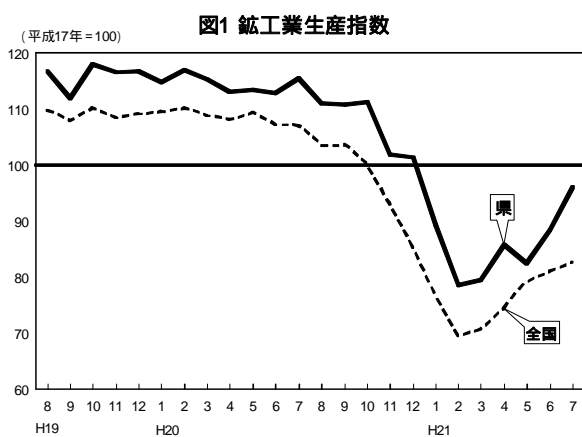
自動車(新車)登録台数(軽自動車を除く)は12か月連続で前年同月比減となり【図3】、軽自動車販売台数も9か月連続で前年同月比減となった。

新設住宅着工戸数は10か月連続で前年同月比減となった。【図3】

(雇用)

有効求人倍率は0.39倍となり、前月と同水準となった。

所定外労働時間指数は24か月連続で前年同月比減、常用雇用指数は5か月連続で前年同月比減、名目賃金指数は9か月連続で前年同月比減となった。【図4】



2. 主要経済指標の動き

(1) 生産活動

- ・ 鉱工業生産指数（H17=100）は96.0となり、前月比8.7%増と2か月連続で上昇した。
- ・ 県内主要3業種では、電気機械工業（旧分類）（112.1）が前月比3.7%増と4か月連続で上昇し、輸送機械工業（100.0）も前月比9.6%増と2か月連続で上昇、化学工業（79.6）も前月比2.4%増と2か月ぶりに上昇した。
- ・ 鉱工業製品在庫指数（H17=100）は100.7で、前月比4.9%減と5か月連続で下降した。（電気機械工業（旧分類）は、日本標準産業分類（平成14年3月改定）の「電気機械工業」「情報通信機械工業」「電子部品・デバイス工業」をまとめたものです。）

（前月比：%、H17=100）	4月	5月	6月	7月
鉱工業生産指数	7.9	-3.7	7.0	8.7
（電気機械工業：旧分類）	22.3	3.3	12.1	3.7
（輸送機械工業）	6.2	-8.5	11.4	9.6
（化学工業）	-3.4	8.7	-6.3	2.4
鉱工業生産指数（全国）	5.9	5.7	2.3	2.1
鉱工業製品在庫指数	-0.9	-6.7	-4.7	-4.9

(2) 個人消費

- ・ 県内の大型小売店販売額（既存店調整値）は、前年同月比8.6%減と12か月連続で前年同月を下回った。
- ・ コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の5県）は2か月連続で前年同月比減となり、家電販売額（中部8県）も2か月連続で前年同月比減となった。
- ・ 自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は前年同月比7.7%減と12か月連続で減少し、軽自動車販売台数も前年同月比2.1%減と9か月連続で減少した。全自動車では前年同月比5.7%減と12か月連続で減少した。

（前年同月比：%）	4月	5月	6月	7月
大型小売店販売額（県内既存店）	-9.1	-8.8	-7.6	-8.6
〃（全国既存店）	-6.7	-6.5	-6.8	-8.4
コンビニエンスストア販売額（5県全店）	4.4	4.8	-3.0	-6.2
家電販売額（8県全店）	-7.5	3.0	-1.6	-4.9
自動車（新車）登録台数（県内）	-29.2	-17.5	-13.7	-7.7
〃（全国）	-28.6	-19.4	-13.5	-4.2
軽自動車（新車）販売台数（県内）	-10.7	-19.8	-12.9	-2.1
〃（全国）	-13.4	-18.4	-16.2	-7.2
自動車・軽自動車 合計（県内）	-21.8	-18.5	-13.4	-5.7
〃（全国）	-23.0	-19.0	-14.5	-5.2

(3) 住宅建設

- ・ 新設住宅着工戸数は1,089戸となり、前年同月比31.9%減と10か月連続で減少した。

（前年同月比：%）	4月	5月	6月	7月
新設住宅着工戸数	-34.5	-43.7	-42.3	-31.9
（参考）（持家）	-28.2	-18.1	-21.3	-6.6
（貸家）	-38.6	-59.7	-57.8	-48.1
（分譲住宅）	-51.9	-56.6	-19.1	-28.8

(4) 公共工事受注（1件500万円以上の工事：発注者別請負契約額）

- ・ 公共機関からの建設工事受注工事額は69億6百万円となり、前年同月比52.2%減と4か月連続で減少した。
- ・ 「国の機関」からの受注工事額は28億2千6百万円となり前年同月比61.1%減と2か月連続で減少し、「地方の機関」からの受注工事額も40億8千万円となり前年同月比43.1%減と4か月連続で減少した。

(前年同月比：%)	4月	5月	6月	7月
受注工事総数(県内)	-27.1	-0.4	-46.8	-52.2
国の機関	-19.4	41.5	-41.4	-61.1
地方の機関	-42.0	-10.2	-48.6	-43.1
受注工事総数(全国)	21.8	27.5	-4.0	-3.9

(5) 雇用情勢

- ・ 有効求人倍率は0.39倍となり、前月と同水準となった。
- ・ 所定外労働時間指数は前年同月比17.7%減となり、24か月連続で下降した。
- ・ 常用雇用指数は前年同月比1.7%減となり、5か月連続で下降した。
- ・ 名目賃金指数は前年同月比7.4%減となり、9か月連続で下降した。
- ・ 完全失業率(全国値)は5.7%となり、前月より0.3ポイント上昇した。
- ・ 三重県の完全失業率(モデル推計値)は4~6月期で4.2%となり、前期(3.4%)に比べて0.8ポイント上昇した。

(前年同月比：%)	4月	5月	6月	7月
有効求人倍率(三重県、倍)	0.41	0.40	0.39	0.39
" (全国、倍)	0.46	0.44	0.43	0.42
所定外労働時間指数	-33.3	-33.2	-31.4	-17.7
常用雇用指数	-0.3	-1.9	-2.0	-1.7
名目賃金指数	-6.3	-8.4	-12.8	-7.4
完全失業率(全国)	5.0	5.2	5.4	5.7
(参考)完全失業率(三重県:モデル推計値)	4.2(4~6月期)			

(6) 企業倒産

- ・ 企業倒産は8件発生した。負債総額は15億9千万円(前年同月比35.5%減)と6か月連続で前年同月比減となった。

(%：前年同月比)	4月	5月	6月	7月
企業倒産件数(件)	15	7	17	8
負債総額(%)	-7.2	-41.5	-7.7	-35.5

(7) 消費者物価

- ・ 消費者物価指数(H17=100)は100.9で、前月比は0.7%下降、前年同月比では2.4%下降した。

(前月比・前年同月比：%)	4月	5月	6月	7月
消費者物価指数(4市平均)	0.1	-0.1	-0.2	-0.7
" (全国)	0.5	-0.6	-1.3	-2.4
" (全国)	0.1	-0.2	-0.2	-0.3

3. 景気動向指数（CI 指数）

・一致指数（景気の現状を示す指標）は 52.6 となり、前月と比較して 4.4 ポイント上昇した。一致指数からみる県内経済の基調は、下げ止まりを示している。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 2 か月連続で上回り、71.4%となった。

（前月差：ポイント）	4月	5月	6月	7月
CI一致指数	4.6	r 0.0	r 4.5	4.4
3か月後方移動平均	-1.2	0.7	3.0	3.0
7か月後方移動平均	-5.8	-4.9	-2.8	-0.9
DI一致指数（%）	14.3	42.9	71.4	71.4

・先行指数（7月時点よりも半年程度先の景気を示す指標）は 95.3 となり、前月と比較して 10.8 ポイント上昇した。DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 13 か月ぶりに上回り、66.7%となった。

（前月差：ポイント）	4月	5月	6月	7月
CI先行指数	5.0	5.8	1.7	10.8
3か月後方移動平均	-0.5	2.5	4.2	6.1
7か月後方移動平均	-2.0	-0.3	0.5	1.2
DI先行指数（%）	16.7	50.0	33.3	66.7

